



一夜限りの月下美人(山上町)

情報紙 第128号 2026年 9月 1日

編集・発行：永源寺地区まちづくり協議会 東近江市山上町 1316 番地 永源寺コミュニティセンター内
IP：050-5802-9336 <http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/> E-mail：e-net6500@e-omi.ne.jp

各学校がスッキリとした景観に



刈りにくい所は技術力で



長いツルの取り除き

今年も地域住民、自治会、各種団体の皆さんによる校地除草作業を実施いたしました。6月13日は市原小学校で40名、台風で延期された永源寺中学校は7月19日に30名のボランティア出演をいただきました。

5年前に3校の校長先生と、みらい会議のメンバーとの懇談会で、PTAの会員も減少しており、校地の除草作業が大変なので非常に困っていることをお聞きし、地域のみんなで協力ができないかというのがこの事業を起すきっかけでした。今年で4回目となりますが、毎回地域の皆

さん多数のご参加をいただき、各校長先生からも非常に助かりますとの感謝の言葉をいただいています。市原小学校はほぼ校地全面の草刈り、生垣の葉刈り、花壇の草むしりができました。いろいろな機械・道具を皆さんお持ちなので、あっという間にすっきりとなりました。また排水路の中の草の引き上げもやっていただきました。

特に延期した永源寺中学校は、非常に暑かった7月の実施となりました。また排水路の中の草の引き上げもやっていただきました。

編・集・後・記

最近よく「昭和レトロ」という言葉を耳にしますが、みなさんはどう感じていますか。「昭和レトロ」とは、1945年～1989年の昭和時代の生活や文化を思い起こさせるアイテムやデザイン、雰囲気などを指す言葉です。

昭和生まれの人間にとっては懐かしいものばかりですが、いまの若者には「新鮮」「かわいい」「エモい」と映り、レコード、レンズ付きフィルムカメラ、足つきグラス、花柄の食器などに「あたたかみ」や「人のぬくもり」を感じるそうです。

不便な時代を生きていた人たちが研究・努力を積み重ね、便利で軽量コンパクトな様々なモノを作り出し、さらにはデジタル時代へと移行してくれました。この洗練されたデジタル時代を生きてきた若者たちには、アナログなモノに接したとき、いまの「あたりまえ」がどれほど素晴らしい技術の結晶であるかを再認識し、評価しているのではないのでしょうか。

特にレンズ付きフィルムカメラである「写ルンです」は爆売れしており、20年ぶりに新モデルも発売されたそうです。写真の画質もそうですが、巻き上げるときや現像されるまでのワクワク感がたまらないそうです。

人は、幼いころに慣れ親しんだ物をみたとき、懐かしさと共に安心感を覚えます。若者も幼少期の思い出として実家や祖父母の家でレトロな物に遭遇した経験はあると思います。こうした記憶や経験が若者たちに「懐かしい」という気持ちを思い出させ、安心感を与えていると思いたいものです。

そんなことを思いながら、物価高の世の中で、偶数月の15日(年金支給日)だけを楽しみに生きております。(き)

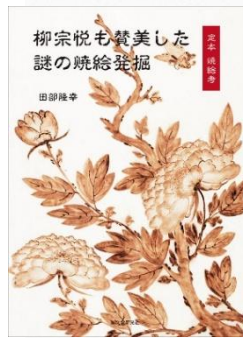
永源寺地域が登場する本・雑誌

永源寺図書館提供

『柳宗悦も賛美した謎の焼絵発掘 定本 焼絵考』

田部 隆幸/著 誠文堂新光社(2014年)

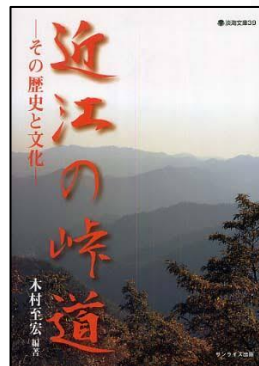
焼絵は、熱した鋺（こて）などを素材に押し当て、焦すことで絵や文字を表現する技法。この焼絵を江戸時代に復興したのは、山上藩の六代藩主である稲垣定淳でした。この本では、たくさんの図版とともに、定淳によって復興された日本の焼絵文化の歴史が詳細に記されています。また、中国や韓国の焼絵についても触れられ、その広がりを知ることができます。



『近江の峠道—その歴史と文化—』

木村至宏/編著 サンライズ出版 (2007年)

古来より、人の行き来に欠かせなかった峠道。かつて商人たちは、重い荷を背負い、時に山賊に悩まされながら険しい山道を往復しました。また、時には武士たちが戦のために山越えをすることもありました。近江の峠道を実際に歩きながら、その歴史や文化を振り返る本書。永源寺ゆかりの峠としては、信長暗殺未遂の舞台として有名な杉峠（千草越）のほか、八風峠や鞍掛峠などが紹介されています。



こんにちは保健師です



メタボリックシンドローム (メタボ) って何が悪いの？

「すこしお腹が出てきたけど体調が悪くもないし・・・」と軽く考えている方がいるかもしれません。メタボとは内臓脂肪が蓄積された「内臓脂肪型肥満」に加え高血圧・高血糖・脂質異常というリスクが複数重なっている状態です。

メタボリックシンドロームの診断基準

腹囲 男性≧85 cm
女性≧90 cm
+

下記の◆のうち2つ

- ◆血圧≧130/85mmHg
- ◆空腹時血糖≧110 mg/dl
- ◆中性脂肪≧150 mg/dl
- かつまたは
- HDL コレステロール<40 mg/dl



健診の結果は血圧も血糖も正常よりちょっと高いだけなんやけど・・・
保健師さんの指導が必要って、そんなに悪いのですか？

腹囲が基準値以上でそれに血圧や血糖や脂質異常が重なるのと死亡するリスクは 30%高くなります。今回の結果では薬を飲むほどではなく食事や運動などで予防改善できます。血管がいたむ前に発見できてよかったですね。次に食事で気を付けることを一緒に考えましょう



まちの話題



永源寺元気フェス2026 地域みんなでフレイル予防



6月7日、今年で3回目の「永源寺元気フェス2026」が開催されました。始めは杉島美代子さんによるリラックスヨガで体をほぐし、管理栄養士の川上かね子さんの指導による健康食（ひじきと人参、豚肉等の混ぜご飯とけんちん汁）を味わい、健康測定で自身の数値を確認。最後は、腹式呼吸と口角を上げて声を出し、気軽なおしゃべりから生まれるコミュニケーションの大切さをフリーアナウンサーの浅居笑さんに学びました。総勢64人の参加者からは「気持ちよく元気をもらいました！」「自身の身体と向き合えました」「混ぜご飯、とても美味しかったです。家でも作ります」と感想をいただきました。

オンナコドモの幸せを考える 人権ふれあい講座開かれる



7月10日に永源寺地区人権のまちづくり協議会によるふれあい講座が、青少年育成市民会議永源寺支部の共催により、永源寺コミュニティセンターで開催されました。

今回の講座は、弁護士の橋本智子氏を講師に迎え、「オンナコドモの幸せ」と題して、特に女性の人権について講演されました。NHKの朝ドラ「虎に翼」の内容を例に出しながら、女性の尊厳について分かりやすいお話をされました。参加された約50人の方は、傾きながら聞いておられました。田舎と言われる地域ほどモラハラ・セクハラがはびこっているということに参加者は苦笑いでした。

林業の地域おこし協力隊 綿貫慧(わためきけい)さん活動報告



7月12日、永源寺図書館で地域おこし協力隊綿貫慧さん（和南町在住）の活動報告会が開かれました。綿貫さんは林業従事者として幅広い技術を習得するため、令和6年6月に市から委嘱を受け活動しておられます。

報告会では地元森林組合などの支援を受けながら技術を磨く日々の様子をはじめ、山で出会う動物や昆虫なども紹介されました。また、将来的には自分の山を持ち、落葉樹・針葉樹を問わず、複合的に活用できる山づくりを目指したいと話しておられました。会場にはスギやヒノキを使って自作したお香やスギ玉の飾り物が展示され、参加者は手に取って香りを楽しんでいました。

甲友会がラチーノ学院校庭の除草作業 友好の絆深めるために10年続く



甲津畑町にあるソフトバレーボールチーム甲友会のメンバーにより、ラチーノ学院の除草作業が7月4日（土）に行われました。甲友会では、ラチーノ学院の子どもたちが気持ちよく通学できるようにと、10年以上前から毎年7月に除草作業を行っています。この日も8人のメンバーと当日学院にいた教員6人と一緒に、グラウンド内の草の除去と、法面に繁茂した草を刈り倒しました。

今後も、甲津畑町とラチーノ学院の良好な関係を続けていくために、お互いに助け合い、つながりを大切にしていきたいと話しておられました。

●ごちそう一番館●

八百電



平常営業時間 8:00~19:00

東近江市山上町 1271 TEL 0748-27-0023 IP 0505-802-2661



地域の歴史再発見講座

市原野町のお盆行事まんだうの魅力を講演

鈴鹿 10 座エコツアーガイドクラブ 中寺吉宣さん（市原野町）

質問を受ける中寺さん。会場には絵図や関連の図書が並び



地域の歴史再発見講座が、6月20日、永源寺「ミニミニセンター」で行われました。今回は、市原野町のお盆行事「まんだう」について、地元市原野町の中寺吉宣さんが話されました。

最初に、令和6年度に文化庁の補助を受け制作された「市原野まんだう」のDVDを鑑賞。たいまつ、材料となる菜種つくりも含め当日の祭りを迎えるまでの作業や、ありがたいたいまつを作る様子、勇壮な火祭りの模様が紹介され、初めて見る方もまんだうの魅力を感じ取られてい

ました。

講演で中寺さんは、起源や祭りの目的についての疑問に触れられ、「約1200年続く行事」と言われるが、その背景に偽文書といわれる椿井文書が使われている点で起源は定かではないといえる。周辺地域の諸行事や「マルト」「みみず」と呼ばれる市原野のまんだうならではの独特な行儀もあることから、虫送りとおしよらいさんをミックスして出来上がった市原野独自の盆行事であると結論付けている」と話されました。

まんだう行事の主役である子どもの減少と、材料の確保やたいまつづくりの技術の継承などの課題もあるなかで、「社会の変化に応じた変化を認め、負担軽減の改善を行い次世代に繋げていけるのがベストではないかと思う」と締めくくられました。



ご当地キャラクター

かえでちゃん活動10年

永源寺かえでちゃん（星のキャラじゃないわ、楓だよ）は、永源寺地区で活動しているキュートなご当地キャラクターです。

2016年11月に現在のイロハカエデの妖精として本格デビューしました。

紅葉の名所として知られる臨済宗大本山永源寺があるこの地域を盛り上げるため、様々なイベントや SNS で魅力を発信しています。

2026年11月には、活動（かえ活）10周年を迎えます。

今後も永源寺地区を盛り上げるために活動していく予定ですので応援をよろしくお願いします。

マネージャーの岸幸男さんから情報提供

道の駅でとび太くんポース



紅葉の永源寺観楓めぐり



かえでちゃんと運営スタッフ

クローズアップ☆

パンクしないタイヤ「エアフリー」 「けい流カー」に 全国初の実用化

エアフリーを装着したけい流カー



令和3年4月から運行している自動運転サービス「奥永源寺けい流カー」に、株式会社プリチストンが開発した次世代タイヤ「エアフリー」を装着。全国初となる実用化の出発式が7月7日、道の駅奥永源寺溪流の里で行われました。

このタイヤは、地面に接する部分はゴムで、内側は空気の代わりに樹脂製のスポークで荷重を支える構造となっており、空気充填が不要なため、パンクの心配がなく、空気圧管理などの日常的なメンテナンス負担を軽減できます。

また、ゴムが摩耗すれば張り替え

て繰り返し使え、波打ったような特殊な形状をした樹脂製のスポークは、リサイクル可能でサステナブル（持続可能な設計）となっています。

市とプリチストンは、昨年1月に全国で初めて「グリーンスローモビリティの共創に向けた連携協定」を締結し、準備を進めてこられました。

プリチストンがエアフリーの開発を始めたのは2008年（平成20年）のことで、実用化への道のりも長く、「空気なしタイヤ」実用化の発表には注目度も高く、この日は20社以上の報道陣が道の駅に詰めかけました。

日本経済新聞では、「空気なしタイヤは長く未来の技術として語られてきた。自動運転という新たな市場を足がかりに、長年の挑戦が本格的な事業へ結びつくかが焦点となる」と、締めくくられ大きく報道されていました。



エアフリータイヤと、たくさん集まった報道各社

養蜂 バトックウェーブ

はちみつ販売 蜂の巣駆除 東近江市高木町115

代表 小西 隆司 携帯 090-1443-3493

営業時間 9:00~17:00

定休日 月曜日 木曜日

鈴鹿山系の天然里山はちみつ 販売

ご家族のご健康に！ 贈り物に喜ばれます

お困りの蜂の巣 駆除依頼 要相談にて





今年も盛況 !! みんなの夏休み 2026



みんなの夏休み協賛企業順不同

永源寺建設工業会
 (株)奥田工務店
 永源寺温泉 八風の湯
 (株)N×Wンビシア・カイプス 関西第2センター
 (株)木村製作所
 (株)東洋石創 青野物流センター
 (株)滋賀ユニック
 タケダ工業(株)
 (株)ダイイチ滋賀工場
 永源寺タクシー(株)
 (株)ヒトミワイナリー
 一般財団法人 日登美術館
 川口屋老舗
 氣樂
 エンゼルトランプ 永源寺(株)
 (有)八百亀
 (有)岡本こんにやく本舗
 古谷工務店
 FLAVOR
 魚文
 かどや
 ひのや
 (株)力ネキチ
 大榎屋
 肉の大助
 ありがとうございました



防犯アプリ「ポケットポリスしが」を紹介する署員

特殊詐欺被害防止へ 駐在所の署員が対策伝える

電話やLINEなどのSNS（交流サイト）を利用した特殊詐欺事件が頻発していることから、被害に遭わないよう心がけるための「コミュニティ安心安全講座」が6月30日、永源寺コミュニティセンターで行われました。

今回が初めての企画で、講師は、政所、永源寺、市原、市辺の駐在所の署員が務められました。

特殊詐欺には、オレオレ詐欺をはじめ、架空料金請求詐欺、ニセ警察官詐欺、SNS型の投資詐欺やロマンス詐欺などがあり、交流サイトを利用した詐欺の昨年の被害額は30億円余り。警察官を語るなどの特殊詐欺の被害額が15億円余り。合わせると46億円を超え、「開通した国道421号の佐目バイパスの事業費が

約38億円。1年で1本のバイパスができるほどの額です」と、被害の大きさを強調されました。

特殊詐欺の約7割が国際電話からの着信だといい、「十」から始まる番号には出ない、仮に電話に出してしまったらすぐに電話を切り、家族や周りの人に相談する、決して一人で判断しないなどを伝えられました。

この後、詐欺の可能性がある番号を警告する滋賀県警防犯アプリ「ぼけっとポリスしが」を紹介され、参加者は署員のサポートを受けながらインストールされました。



講師は左から政所、永源寺、市原、市辺駐在所の東近江署員の皆さん



ぼけっとポリスしが



滋賀県警察本部